

ため池 訪ル	駐車場	魚釣り	バーベキュー	ペット糞尿	たき火	生物放流	車両進入	その他
ル	○	×	×	×	×	×	×	



ため池データ			
所在地	加古郡稲美町印南 1463-2		
総貯水量	125,000 m ³		
貯水面積	40,000 m ²	受益面積	18 ha
管理者	印西水利組合		
築造年	明治24年以前		
改修年	—		



ため池紹介

母里地区では疏水からの引水が可能になりましたが、従来のため池では容量が少なかったのでため池を新築、改良、増築する必要がありました。この宮池も当時3,000 m³しかなかったもので、約50名の農民が結束し、宮池を増築する事になり、明治25年8月に竣工しました。この増築により宮池は40,000 m³、灌漑面積約18ヘクタールとなりました。

◆歴史・文化等

この付近一帯は、播磨国加古郡母里村印南新村といわれていましたが、地理的、自然的制約から水利に恵まれず、大半がやせた畑地でした。この地に灌漑用水を引いて水田にすることは、古くからの当地農民の念願でした。明治6年の地租改正により重税が課されたことから疏水による農地灌漑の機運が高まり、明治13年、山田川からの疏水事業を起こす目的で母里6ヶ村により疏水連合会が結成され、明治19年には加古地区、天満地区も加わって水利士功会となり、後には母里村他4ヶ村普通水利組合に改組されました。当初は水源として山田川を予定していましたが、水路予定地の地質不良のため水源を美囊郡淡河村木津（現神戸市北区淡河町）の淡河川に変更し、明治21年1月27日に起工し、難工事の末、明治24年4月疏水幹線が完成しました。

◆自然環境

先人の苦勞により開かれた一帯は、田園風景が広がるのどかな景観が人々の心を和ませます。

◆レクリエーション

池の周囲には、遊歩道ができ、多くの人がウォーキングを楽しんでいます。



ため池ごよみ



項 目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
農作業	水稻（コシヒカリ）												
	水稻（キヌヒカリ・ヒノヒカリ）												
水利・保 全作業	溝掃除（普請）												
	堤体草刈												
	野焼き												
	クリーンキャンペーン（草刈・清掃）												
	配水操作（ゲート、セキ板等）												
	かいぼり（池干し）												
イベント等	ウォーキング												
	住吉神社秋祭り												
主な動植物の見頃													
景色等の身頃（周辺も含めた眺め）													
その他	大雨前の事前放流												